

審議・承認等事項

議案	内容	結果
4 議事		
(1) 報告第1号	令和7年度事業報告について、事務局から報告	承認
(2) 報告第2号	令和7年度収支決算報告について、事務局から報告	承認
(3) 報告第3号	令和7年度会計監査報告について、監事から報告	承認
(4) 報告第4号	マリモの保護研究事業について、釧路市教育委員会から報告	承認
(5) 報告第5号	阿寒湖チュウレイ湾におけるマリモの生育に悪影響を及ぼす水草除去・管理事業の進捗状況について、釧路市教育委員会から報告	承認
(6) 報告第6号	シュリコマベツ湾における「マリモを学び・ふれあう場の創出」の取組について、環境省釧路自然環境事務所から報告	承認
(7) 議案第1号	令和8年度事業計画（案）について、事務局から提案	承認
(8) 議案第2号	令和8年度収支予算（案）について、事務局から提案	承認
(9) 議案第3号	マリモ保護に関する諸課題の検討について、マリモ倶楽部から提案	承認
5 その他	一般財団法人自然公園財団阿寒湖支部が今年度実施の自然ふれあい行事について案内	

質疑内容

報告第4号：マリモの保護研究事業について

質問	回答
【阿寒観光協会】 キネタンペ湾でのマリモ発見について「初めて」とあったが、歴史的経緯や過去の保護会の活動記録を踏まえると正確ではない。また、チュウレイ湾とキネタンペ湾では環境が大きく異なる。今後も氷による押しつぶしなどの危機が起こり得るため、環境保全をしっかりと心がけてほしい。	【釧路市教育委員会】 読み原稿の誤りであった。昭和27年の発見や平成7～8年の確認の記録があり、「久しぶりに確認できた」というのが正確である。キネタンペの環境が良い理由を洗い出し、チュウレイ湾の改善に活かしたい。
【前田一步園財団】 マリモの生育状況について、20 cm以上のものが何個あるか、以前と比較してどうなのか等、具体的な現況が分からないと対策の議論ができない。また、釧路市HPでマリモ科学委員会の議事録が令和7年度以降未公開となっている。速やかな公開と、総会への報告を行うべきである。	【釧路市教育委員会】 現況報告の資料不足についてはご指摘の通りであり、来年以降改善し、分かりやすい資料を改めてお送りする。科学委員会の7年度・8年度の議事録の未公開についてはお詫び申し上げる。今後速やかに公開する。科学委員会の議事についても、報告を行うように改める。
【マリモ保護会】 チュウレイ湾の河口について、毎年形が変わっているが今後意図的に管理していく考えはあるか。	【環境省釧路自然環境事務所】 マリモ保全に資するものであれば、自然公園法の許可や土地所有者（国有林）の許可を得て、川の流れを人工的に変える対策を実施することは可能である。科学委員会での検討も必要となるため、各機関と調整しながら進めていただきたい。

報告第5号：阿寒湖チュウレイ湾におけるマリモの生育に悪影響を及ぼす水草除去・管理事業の進捗状況について

質問	回答
【前田一步園財団】 水草対策の成果について、マリモ研究室ではどのように認識しているか。	【釧路市教育委員会】 水草除去をしなければ確実に悪化すると聞いており、保護に役立っているという認識。効果が見られつつあるため、今後も事業を継続していく。

報告第6号：シュリコマベツ湾における「マリモを学び・ふれあう場の創出」の取組について

質問	回答
【阿寒観光協会】 世界で阿寒湖だけに存在するマリモを守り抜くことは地域の象徴として非常に重要であり、大いに期待している。	【環境省釧路自然環境事務所】 意見として承り、人間と自然が間近にふれあえる場の創出に努める

議案第1号 令和8年度事業計画（案）について

質問	回答
【阿寒観光協会】 チュウレイ湾の打ち上げ防波堤の巨大鉄板が放置され、氷でぐちゃぐちゃになっている。打ち上げられたマリモが干からびる事例もあり、かつての監視小屋のように人が常駐してマリモを戻すなど、現地管理体制をしっかりと見直すべきである。放置された壊れかけの黄色いボートなども早急に処理してほしい。 【前田一歩園財団】 地域としてマリモが絶滅の危機にあるという強い認識をもち、現状の把握や予算措置、研究体制の構築など、今本当に必要な対策を市全体で真剣に考えてほしい。 【阿寒観光協会】 現地に行ったことがない委員もいるため、来年は現地観察会をセットで行うべきである。	【釧路市教育委員会】 放置ボートの処理を含め、ご意見を真摯に受け止める。教育委員会だけでなく、副市長や産業振興部なども含めた釧路市全体として、この課題に取り組んでいく。 来年度に向けては現地観察会の実施も含め、関係機関と協議しながらしっかりとした管理体制の構築に努める。

議案第 3 号 マリモ保護に関する諸課題の検討について

質問	回答
【阿寒観光協会】 マリモ展示観察センターの改善に向けた意見交換会が複数回開催されているが、具体的に何が解決されたのか。また、施設そのものだけでなく、チュウルイ島に施設が移転した歴史的背景や物語を案内やガイドで伝えるべきである。	【阿寒観光振興課】 建物内の塗装や床材の補修など、指定管理者の観光汽船の協力により直した部分もある。また、夏期の暑さ対策としてクーラーの設置を来年度予算に向けて要求していく。次回 9 月頃の開催時にも現地を見ていただきながら進めたい。
【阿寒観光協会】【マリモ倶楽部】 漂着マリモの回収などのボランティア活動を行う際、周囲から不審者に見られないよう、また安心して活動できるよう「腕章」などの目印があるとよいのではないか。	【釧路市教育委員会】 活動の安全性・信頼性を高める意味でも、腕章の導入は予算的にも現実的なアイデアであり、前向きに検討したい。 国立公園内での活動となるため、環境省とも相談のうえ、誰がどのように活動・回収するかというルールやチェック体制も含めて今後検討していく。